

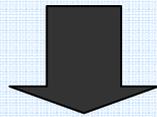
若手技術者の教育・育成事業

— 実践的な技術力の習得を目指して —

ステップ1 2～3日間の集中的な研修会実施

— 概要 —

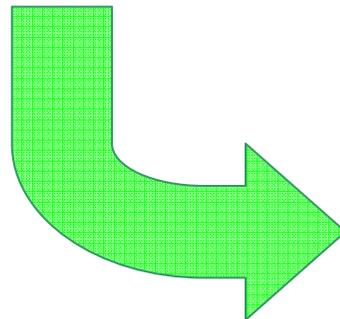
特定テーマ（例えば、樋門の設計業務）について 実施手順（フロー）、条件の考え方、条件の設定方法、解析・計算の手法、その実施手順、演習実施、一般図、詳細図の作成等、実際の作業の仕方を教える。



— 目標 —

ほとんど、技術知識のない若い人に業務を担当する自信をつけさせる。

まずは、業務の実施方法について

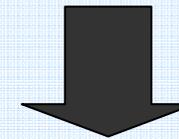


さらに、具体事例に対応するときに

ステップ2 業務受注後、左記担当者が効率的に仕事ができる様、業務の節目節目で指導助言を行う。

— 概要 —

- (1) 第1回打ち合わせ前後の現地踏査に同伴し、本業務実施に当たっての注意点、問題点、必要な資料、発注者に確認すべき内容等を提示する。
- (2) 発注者との業務打ち合わせ前後、打ち合わせ資料、議事録に目通しし、正しい方向に進められる様、指導・助言する（数回行われる業務打ち合わせ毎に実施する）。
- (3) 業務途上での質問に回答する（メールにて）。
- (4) 成果品の概査（チェックは含まない）
成果品の記述内容が適切であるか、確認を行い指導・助言する。



— 目標 —

業務実施を通じて、経験者（アドバイザー）の指導・助言を受けることにより、効率的な業務の遂行を図る。また、より多くの実務ノウハウを吸収する。